

Re・De Pot

取扱説明書

電気圧力鍋 2L

EPC01A-20



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

- 本書には「保証書」が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、紛失することの無いように大切に保管してください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この製品は屋内・家庭用です。業務用、一般的な居住場所以外では使用しないでください。
- この商品は海外ではご使用になれません。また、海外でのアフターサービスの対応はいたしておりません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.
- イラストは説明イメージですので、実際とは多少異なります。

お使いになる前に

安全上のご注意	P.3
使用上のお願い	P.8
各部の名称	P.9
ご使用の前に	P.11

調理の仕方

本製品でできること	P.15
調理の準備	P.17
圧力調理	P.19
低温調理	P.23
温め	P.25
予約／保温	P.26

ご愛用の手引き

お手入れ	P.27
すぐにふたを開ける(緊急時)	P.29
困った時は	P.30
保証とアフターサービス	P.31
消耗・交換部品	P.33
仕様	P.34

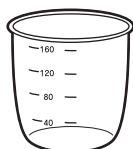
「毎日特別ごはん」
レシピ公開中!



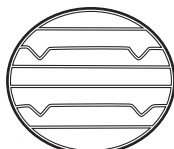
内容品



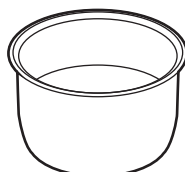
本体



計量カップ

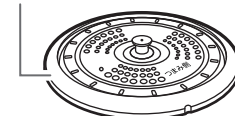


蒸し台



内がま

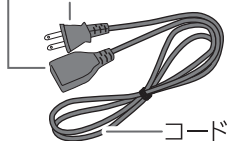
パッキン



内ぶた

器具用プラグ

電源プラグ



コード

電源コード



取扱説明書(保証書付き)



レシピブック

※蒸し台は、蒸し料理に使用します。水を入れた内がまに蒸し台をセットし、蒸し台の上に調理物をのせてください。

※蒸し台の網の上くらいまで水を入れますが、食材が水につからないよう耐熱皿などを使用してください。

※蒸し台を使用する際は、必ず内がまに水を入れてください。空焚きはしないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を説明しています。

圧力なべは加熱されると内部が極めて高温・高圧になり危険です。取り扱いを誤ると、けが・やけどなどの傷害を負うことがありますので、以下の注意事項をよくお守りください。

表示の説明



警告

「死亡または重傷※¹を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「軽傷※²を負うことや、物的損害※³が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明



してはいけないこと(禁止)を示します。



しなければならないこと(指示)を示します。



中の絵や近くの文で、注意を促す内容を示します。

※1:重傷とは、失明やけが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3:物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠ 警告

 禁止	電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・火災の原因になります。
 指示	電源プラグのホコリなどは定期的にとる 火災の原因になります。
 禁止	交流100V以外では使用しない 感電・火災の原因になります。
 指示	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
 指示	定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると、コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。
 禁止	絶対に改造や分解、修理はしない けが・感電・火災の原因となります。修理はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談窓口にご相談ください。
 禁止	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない 感電・火災の原因になります。電源コードに異常があるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社お客様相談窓口へ点検・修理などを依頼してください。
 禁止	子供、介護の必要な方、取扱いが不慣れな方などだけでは使わせない 乳幼児の手の届くところでは使わない けが・感電の原因になります。
 禁止	ぬれた手で、電源プラグ、器具用プラグを抜き差ししない。スイッチを押さない けが・感電の原因になります。
 禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしない 感電・火災の原因になります。
 禁止	食器洗浄機、食器乾燥機、食器洗い乾燥機は使用しない 火災の原因になります。
 禁止	レトルトパックやアルミパックなどを入れて調理しない 火災の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告	
 禁止	調理中は無理にふたを開けない、動かさない ・けが・やけどの原因になります。
 禁止	不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない ・けが・火災の原因になります。
 禁止	器具用プラグに金属などを付着させない ・火災の原因になります。
 禁止	電源プラグや器具用プラグをなめさせない ・けが・感電の原因になります。特に乳幼児が誤ってなめないようご注意ください。
 禁止	重曹や多量の油など急激に熱反応して発泡するものは使用しない ・けが・やけど・火災の原因になります。
 指示	カレーやシチューなど粘りけの強いものは、ふたをせずに調理する ・けが・やけどの原因になります。
 指示	蒸気を排出してからふたを開ける ・けが・やけどの原因になります。 調理が終わっても、なべの中には圧力が残っています。蒸気が完全には排出できていないと(なべの中に少しでも圧力が残っていると)ふたが飛んだり、調理物が吹き出すおそれがあります。 P.20の手順に従って適切に内圧を下げてください。
 指示	異常・故障が発生したときは、ただちに使用を中止する ・けが・やけど・感電・火災の原因になります。必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社お客様相談窓口へご相談ください。 〈異常・故障例〉 電源コードが異常に熱くなる コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする 本体が変形したり、異常に熱い
 禁止	調理以外には使用しない ・けが・やけどの原因になります。

警告



禁止

ご使用前に、必ず各部の状態を確認する、次の状態で使わない

- けが・やけどの原因になります。
〈使用禁止の状態例〉 圧力表示ピン、圧力切替弁、ノズルが穴詰まりしている
排気弁カバーを付けていない
パッキンが付いていない
パッキンが傷んでいる
ふたが確実に閉まらない
調理物を最大容量の指示線以上に入れない



禁止

圧力表示ピンや圧力切替弁、ノズル、パッキンなどに触ったり、手や顔を近づけない

- けが・やけどの原因になります。特に乳幼児には注意してください。



禁止

使用中・使用直後は高温部に触れない

- けが・やけどの原因になります。



指示

調理する際は、排気弁カバーをつける

- 調理物が排気弁に詰まり、けが・やけどの原因になります。



指示

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

- けが・やけど・感電の原因になります。



指示

本体の水洗いはしない

- 感電・火災の原因になります。



指示

やむを得ず、急いでふたを開ける時は、急速に冷やす。

- けが・やけどの原因になります。
P.29の説明に従って十分に冷えた後で開けてください。



指示

ふたを開けるときは圧力切替弁を「排気」の位置に合わせて蒸気を完全に排出すること

- けが・やけどの原因になります。



禁止

空だきや過剰な加熱をしない

- けが・やけど・火災の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意	
 指示	電源プラグや器具用プラグを抜くときは必ずプラグをもって引き抜く ・感電・火災の原因になることがあります。
 指示	付属の電源コードを必ず使用する。また、他の製品には使わない ・感電・火災の原因になります。電源コードを紛失したときは、お買い上げの販売店または弊社お客様相談窓口へご相談ください。
 指示	使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく ・けが・やけど、絶縁劣化による漏電火災・感電の原因になります。
 禁止	持ち運ぶときは本体の取っ手を両手で持ち、ふたの取っ手は使用しない ・けが・やけどの原因になります。
 禁止	ノズルや取っ手にガタつきがあるときは使用しない ・けが・やけどの原因になります。
 指示	取っ手が熱くなっているときは、ミトンなどを使う ・けが・やけどの原因になります。
 禁止	サーモスタットの思わぬリセットによる危険をなくすために、タイマーなど自動的に電源の入切を行う電源装置に接続しない ・火災の原因になります。
 禁止	壁や家具の近くで使用しない ・壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。
 禁止	火気や湿気のあるところ、直射日光の当たる所で使わない ・変形・変色の原因になります。
 指示	お手入れは、冷めてから行う ・けが・やけどの原因になります。
 禁止	外部タイマ又は個別遠隔操作システムで外部より操作しない ・けが・やけどの原因になります。
 指示	次の部分は必ずお手入れする ・けが・やけどの原因になります。 下記部分をP.27、28に従ってお手入れしてください。 ・ヒータープレート ・パッキン ・圧力切替弁 ・排気弁カバー ・圧力表示ピン ・ノズル

使用上のお願い

■ごはんつぶなど異物をつけたまま使わないでください

故障の原因となります。

■別の調理なべなどを入れて使わないでください

故障の原因となります。

■調味液、調味料は合わせてよく溶かしてから入れてください

生煮えになるなど、うまく調理ができない原因となります。

■内がまを直接火にかけたり、他の調理器具などで使わないでください

変形・変色・故障の原因になります。

■パッキンなどは付属品以外のものを使わないでください

破損・故障の原因になります。

■内がまに次のことはしないでください

傷つき・故障の原因になります。

- ・金属製の調理器具(おたまなど)は使わないでください。
- ・米を洗わないでください。
- ・かたいものを当てたり、たたいたりしないでください。
- ・洗いおけ代わりに使わないでください。
- ・かたい食材を内がまに押しつけたり、強くかき混ぜたりしないでください。

■使用後は、すぐに内がまなどを洗ってください

故障の原因になります。

■内がまのお手入れは、やわらかいスポンジなどを使い、磨き粉や金属たわし、ナイロンたわしで洗ったりこすったりしないでください

傷つき・故障の原因になります。

■内ぶたを正しく取り付けた状態で調理してください

故障の原因になります。

■内がまの外側の水気を拭き取ってからセットしてください

故障の原因になります。

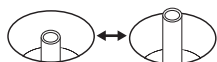
■生ものを調理するときは予約調理しないでください

食材が傷んでしまうおそれがあります。

各部の名称

本体

圧力表示ピン



圧力の状態を示します。
(P.14)

ロックピン

※引っ張ったりしないで
ください。

圧力切替弁

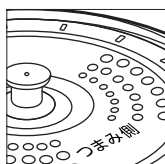


圧力の密封と排気を切り
替えます。(P.14)

取っ手(ふた)

ふた

つまみ



つまみ側

※取り付け方法についてはP.13
をご参照ください。

内ふた

パッキン

※取り外した場合は、必ず取り
付けてください。蒸気もれや
故障の原因になります。

内がま

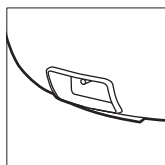
内側はセラミックコート

取っ手(本体)

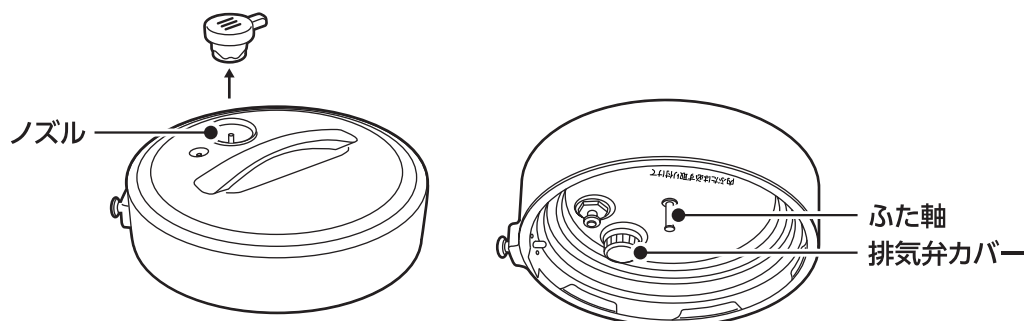
本体

操作パネル

器具用プラグ
接続口

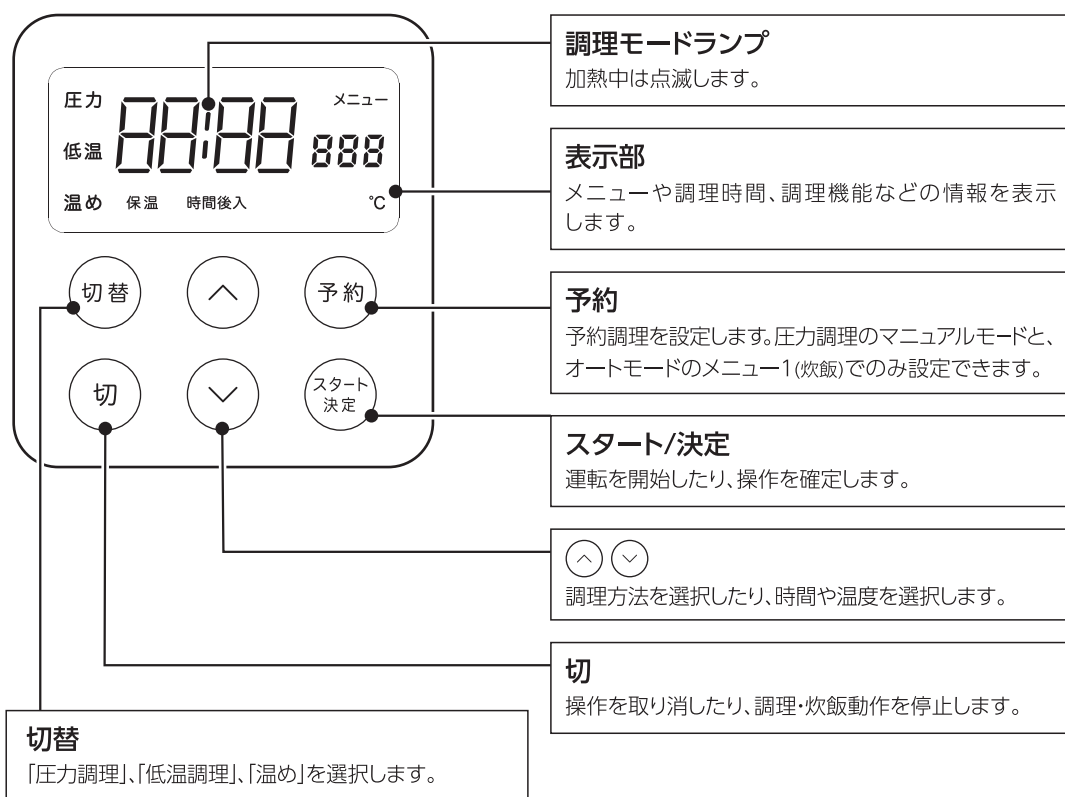


ふた



各部の名称

操作パネル



ご使用の前に

異常が見つかった場合はご使用を中止し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店又は弊社お客様ご相談窓口へご連絡ください。

ご使用前の洗浄・確認について

初めてお使いのときは、付属品や各部品を洗ってください。

洗いはP.27、28を参照ください。

分解・組み立てについては、以下をご確認ください。

ふたの開けかた、閉めかた

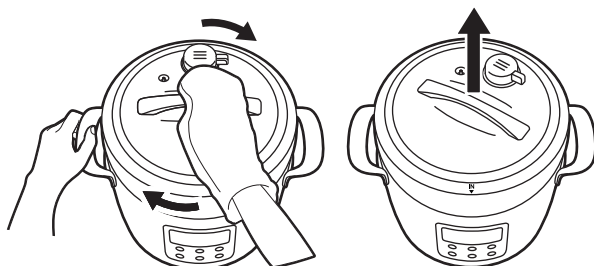
開けかた

時計回りに、ふたの **IN** マークが正面にくる位置まで回し、ふたを持ち上げます。

※ロックピンは引っ張ったりしないでください。

※調理後にふたを開ける場合は、ふたの高温部(ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど)や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、必ずミトンを使用してください。

※ふたが回しにくい場合は、取っ手(本体)も持って回してください。

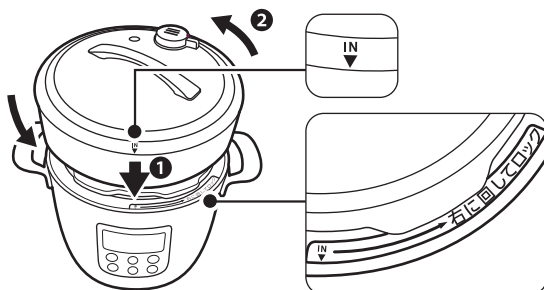


閉めかた

①本体ふちの **IN** マークにふたの **IN** マークの位置を合わせてふたをはめ込み、②反時計回りにしっかり回します。

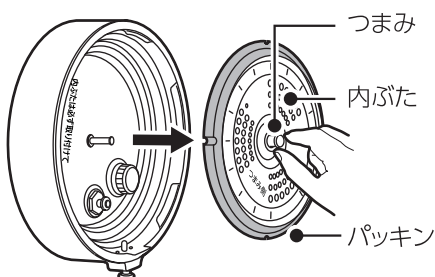
※“カチャ”と音がし、ロックピンが出て戻るのを確認してください。

※ふたが回しにくい場合は、取っ手(本体)を持って回してください。



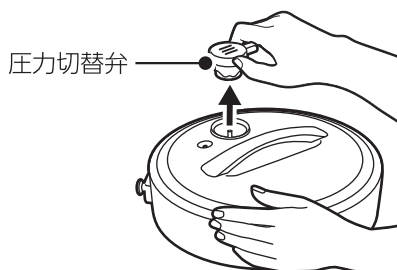
ふたの分解

1. つまみを持って内ふたをはずし、パッキンも取り外す



2. 圧力切替弁を取り外す

※ふたをおさえながら取り外してください。

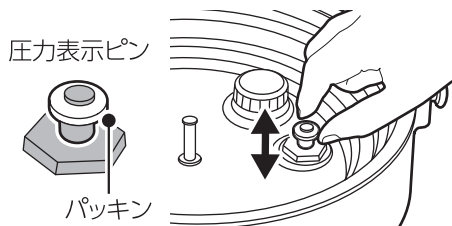


ふたの組み立てと確認

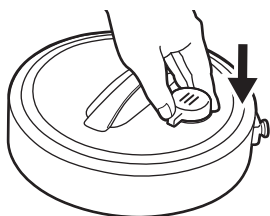
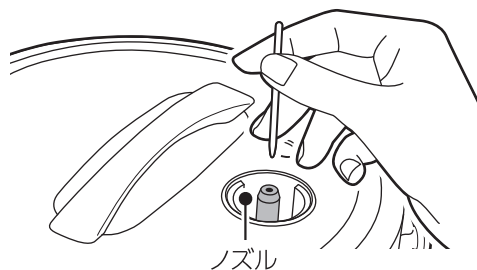
1. 圧力表示ピンをつまんで、上下に動くことを確認する

※確認時、圧力表示ピンのパッキンに無理な力を加えないように注意してください。

※圧力表示ピンのパッキンが取り付けられていることを必ず確認してください。



2. つまようじなどをノズルに差し込み詰まりがないことを確認してから、圧力切替弁をはめ込む



※圧力切替弁は強く押しではめ込んでください

※はめ込んだ後、軽く引っ張って圧力切替弁が抜けないことを確認してください。



警告

■ノズルが詰まった状態で使わない

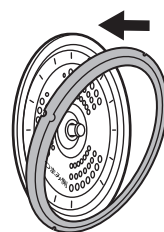
- けが・やけどの原因になります。

ノズルが詰まっていると圧力調整が出来ず、蒸気や調理物が噴き出すことがあります。

3. 内ぶたにパッキンを取りつける

※パッキンに汚れ、ぬめり、亀裂など劣化が無いかを確認してください。また、パッキンをはめたときに、ゆるみ、たるみなどが発生していないかを確認してください。

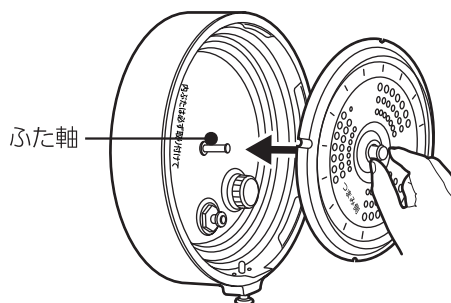
※パッキンは消耗品です。1年を目安に交換するようにしてください。



4. 内ぶたをしっかりと取りつける

※内ぶたのつまみが外側になるように取りつけてください。

※内ぶたをふた軸にしっかりと差し込んでください。差し込んだ後に内ぶたが落ちないことを確認してください。



ご使用の前に (つづき)

内ぶたつまみの取り付け方法について

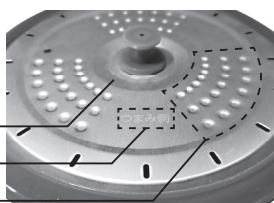
お手入れなどで外れた場合、以下の手順で取り付けてください。

外れた状態や誤った取り付け方で使用すると、調理の仕上がりが悪くなったり、本体内に蒸気が侵入するなど故障の原因になります。

1. 内ぶたのつまみ側を上向きにする。

【つまみ側の見分け方】

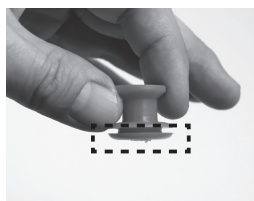
- 内ぶたつまみの取付部付近が凹んでいる
- 「つまみ側」の文字がある
- パンチングが凹んでいる



つまみ側

2. 内ぶたつまみの下側(右図の破線部分)をつまんで折り曲げて、内ぶた中央の穴に差し込んで入れる。

※破線は底面からくぼみまでです。



つまみ側

3. 内ぶた裏側に正しく取り付けていることを確認し、ふたに正しく取り付け付ける。

※差し込んだ部分がねじれている場合、取り付け直してください。



内ぶた裏側



ふたにセットした状態

お願い | 内ぶたを正しく取り付けれた状態で調理してください

以下の状態だと正常に取り付けられていません。

つまみのくぼみ部分が穴の間に
入っていない



裏側

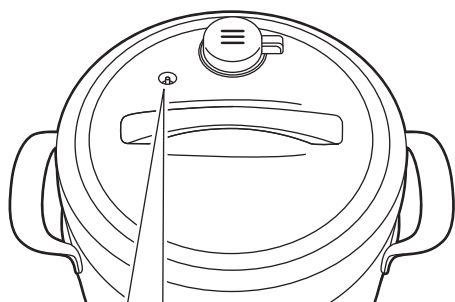
つまみが
ねじれている



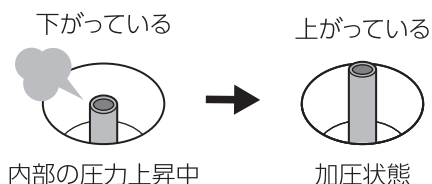
つまみ側

圧力表示ピンについて

調理開始後、内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。



圧力表示ピン



警告

■使用中・使用直後は高温部に触れない

- ・けが・やけどの原因になります。

■圧力表示ピンや圧力切替弁、ノズル、パッキンなどに触ったり、手や顔を近づけない

- ・けが・やけどの原因になります。

使用前の
前に

圧力切替弁について

圧力切替弁には「密封」と「排気」の2つの機能があります。

密封

内部の圧力を一定に保ちます。
圧力調理で調理する場合は、必ず「密封」の位置に合わせます。
※一部のオートモードでのメニューも含まれます。

排気

スロー（低温）調理モードと温めモードで加熱調理する場合は、必ず「排気」の位置に合わせます。

※加熱調理中は、圧力切替弁から排出される蒸気に注意してください。



本製品でできること

圧力調理

時間のかかる煮込み料理も短時間で柔らかく仕上がります

豚の角煮やスペアリブなど、煮込むのに時間がかかる料理が適しており、短い時間で柔らかく仕上がります。

オートモード 8種の便利な自動調理

それぞれのメニューに合わせた加圧時間で調理できます。

メニュー番号	加圧時間	メニュー番号	加圧時間	メニュー番号	加圧時間	メニュー番号	加圧時間
1 (炊飯)	20分*	2	18分	3	15分	4	8分
5	6分	6	11分	7	20分	8	3分

メニュー番号に対応するレシピについてはレシピブックのP.69をご確認ください。
上記は加圧時間です。減圧時間は含みません。
※時間は目安です。

マニュアルモード 加圧時間を手動設定して圧力調理

加圧時間を1分～最大1時間まで設定し、圧力調理ができます。

調理の準備 (P.17, 18)



調理の設定 (P.19～22)



低温調理

一定温度での加熱で温度管理の難しい調理も可能に

ロールキャベツなど、一般に弱火で時間をかけて加熱する料理に適しています。本製品では設定した温度を保ちますので、火加減の調節不要で調理ができます。

加圧せずに、加熱温度・時間を設定して一定温度で調理を行います。

設定時間:5分～12時間

設定温度:30℃～100℃

調理の準備 (P.17, 18)



調理の設定 (P.23)



温め

調理物のあたためなおしができます

作り置き料理など、調理物をあたためなおします。
カレーやスープなどの汁気のあるものが適しています。

調理の準備 (P.17, 18)

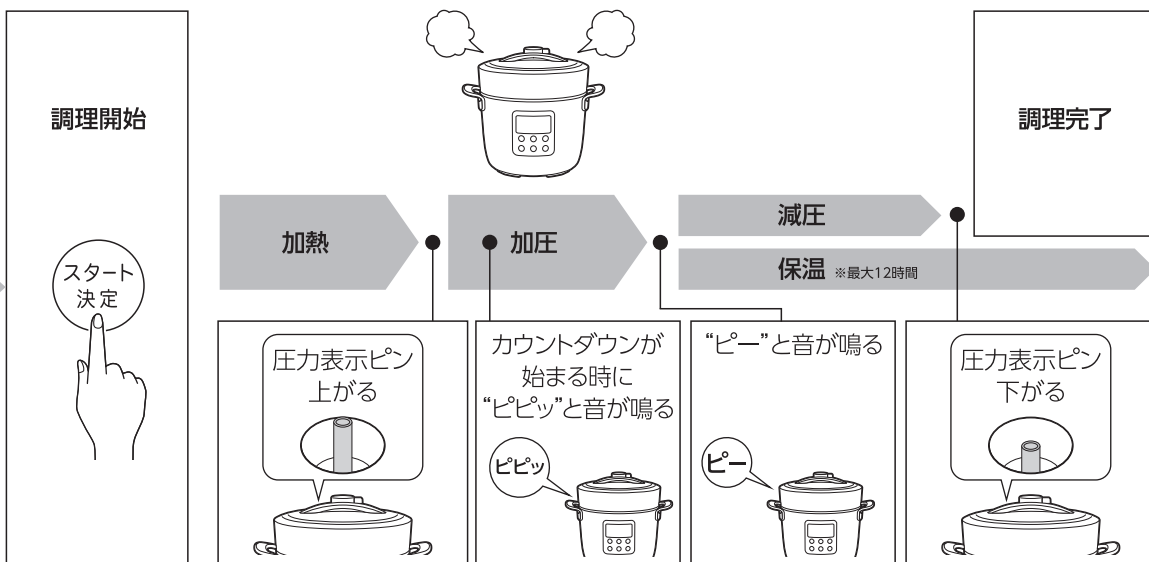


調理の設定 (P.25)

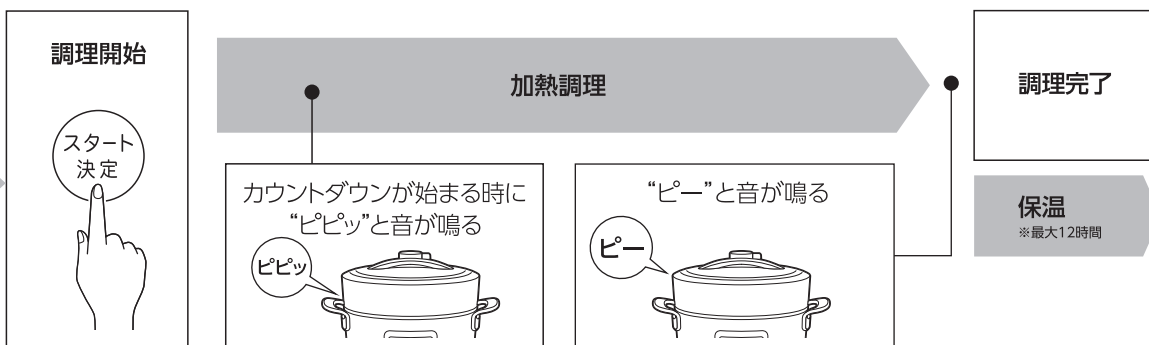


各機能での調理の流れは下記ようになります。圧力切換弁は、機能別に「密封」か「排気」に合わせてご使用ください。

「毎日特別ごはん」
レシピ公開中!



本製品でわかること



調理の準備

調理の準備をする

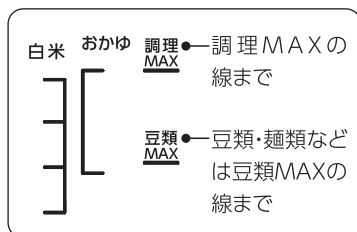


警告

■調理の最大容量を守る

- けが・やけどの原因になります。

内がまの「調理MAX」、「豆類MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。豆の皮、麺類等が圧力調整装置のノズルなどに入り込み圧力調整ができなくなる可能性があります。



■多量の油や重曹は使用しない

- けが・やけどの原因になります。

■粘性のあるものは入れない

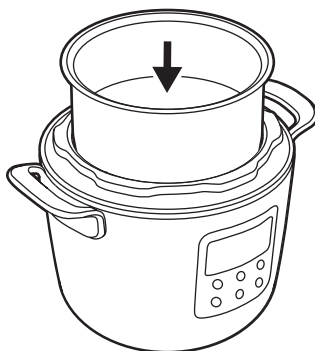
- けが・やけどの原因になります。

カレーやシチューのルーなど、粘性のあるものは調理後、ふたを開けてからいれてください。圧力調理中に、ノズルにルーなどが詰まり、圧力調整ができなくなる可能性があります。

1. 材料を内がまに入れる

材料の下準備については、メニューに合わせて付属のレシピブックをご覧ください。

2. 内がまを本体にセットする



3. ふたが正しく組み立てられているか、確認する

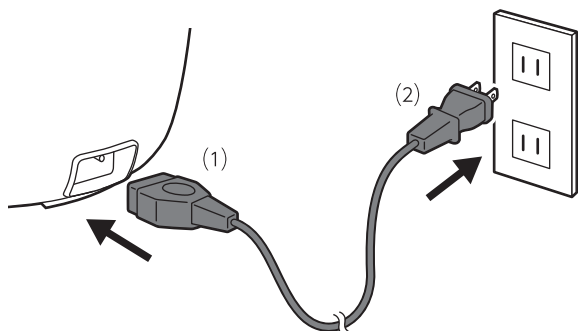
詳しくは、P.12、13の「ふたの組み立てと確認」を参照してください。

4. ふたを閉める

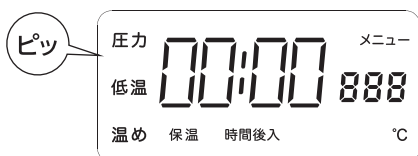
詳しくは、P.11の「ふたの開けかた、閉めかた」を参照してください。

5. 電源コードを接続する

- (1) 器具用プラグをしっかりと取り付ける
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込む



電源プラグを差し込むと、“ピッ”と音がして全点灯後、スタンバイモードになります。



全点灯(1秒以下)



スタンバイモード



注意

■内がまが傾いたまま使用しない

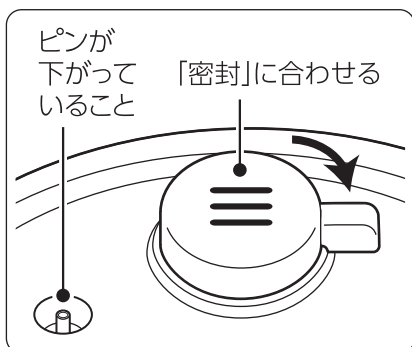
- けが・やけどの原因になります。

内がまが傾いていないか、本体と内がまの間に異物が挟まっていないかを確認してください。

圧力調理

オートモード

●準備する(P.17、18)



警告

■調理中や調理の直後は圧力切替弁には触れない

- けが・やけどの原因になります。

高温の蒸気が噴き出す場合がありますのでご注意ください。

メニュー選択後、スタートボタンを押さずに約5分間何も操作しないと設定内容が取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は初めから操作をやり直してください。

「毎日特別ごはん」
レシピ公開中!



1. (↑)または(↓)を押して、メニューの番号を選ぶ



デジタル表示とメニュー番号が点滅

メニューに応じた「加圧時間」が表示されます。

(メニュー1のみ表示内容が異なります。

※ステップ2をご覧ください)

メニュー番号に対応するレシピについてはレシピブックのP.69をご確認ください。

メニュー番号	加圧時間	メニュー番号	加圧時間	メニュー番号	加圧時間	メニュー番号	加圧時間
1	20分*	2	18分	3	15分	4	8分
5	6分	6	11分	7	20分	8	3分

上記の時間は減圧時間を含みません。

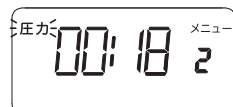
※メニュー1で「炊飯」(4合)を調理した時の目安です。

2. (スタート決定)を押して、調理を開始する

“ピー”という音がして、調理が開始します。

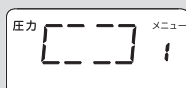
加熱中

加熱中は時間表示は変化しません。



「圧力」が点滅
メニュー番号は点灯したまま

メニュー1を選んだ場合のみ、表示が変わります。



圧力調理中

“ピピッ”という音がして、「圧力」が点灯し、「！」が点滅します。残り時間も減っていきます。



「！」が点滅
メニュー番号は点灯したまま

保温

終了音(“ピー”が3回)が鳴ったら圧力調理は終了です。自動で保温に切り替わります。



「保温」が点灯し、「！」が点滅

保温中は経過時間を表示します。

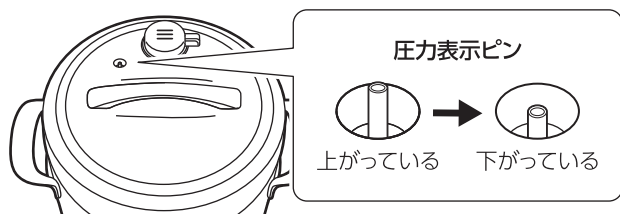
保温は最大12時間続きます。

途中で終了したい場合は (切) を押します。

3. 圧力表示ピンが下がるまで待つ

圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5～30分です。

※調理内容、量によって異なります。



4. ふたを開ける

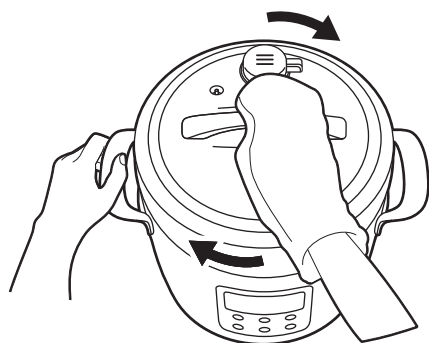
圧力切替弁を「排気」に切り替えて、完全に蒸気を排気します。

ふたを時計回りに回します。

※ふたの開け方の詳細は、P.11を参照ください。

※ふたが回しにくい場合は、取っ手(本体)も持って回してください。

※ふたを開ける際は、取っ手をわずかに動かし、いったん止めたときに、ふたの隙間から蒸気が出てこないことを確認してから、ふたを開けてください。



■ふたをあけるときの適切な手順であける。蒸気が出ていないことを確認する。圧力が残っている状態・下がる前に絶対にふたを開けない。

• けが・やけどの原因になります。

P.11「ふたの開けかた」、P.29「すぐにふたを開ける(緊急時)」に従ってふたを開けてください。

重く感じた時は内部の圧力が下がっていない可能性があります。

少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり高温の蒸気や調理物が噴出したりする場合があります。少し時間を置いてから開けてください。

すぐにふたを開けるときの周囲の安全を確かめてから開けてください。

■調理後にふたを開ける時は、必ずミトンをはめる

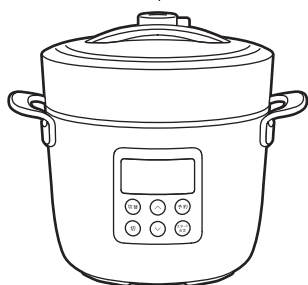
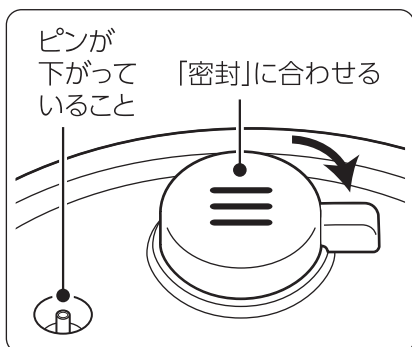
• けが・やけどの原因になります。

ロックピン、圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふた、内がまなどの高温部や蒸気に素手で触れないようにご注意ください。

圧力調理(つづき)

マニュアルモード

●準備する(P.17、18)



警告

■調理中や調理の直後は圧力切替弁には触れない

- けが・やけどの原因になります。

高温の蒸気が噴き出す場合がありますのでご注意ください。

メニュー選択後、スタートボタンを押さずに約5分間何も操作しないと設定内容が取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は初めから操作をやり直してください。

「毎日特別ごはん」
レシピ公開中!



1. 切替ボタンを押して「圧力」を選択する



デジタル表示が点滅

2. (↑)または(↓)を押して、加圧時間を設定する

設定範囲:1分～1時間(1分単位で設定できます)

長押しすると5分単位で設定時間が変化します。

時間は「時:分」で設定します。

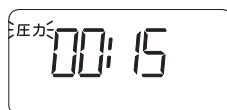
(例「00:10」の場合は10分間加圧します)

3. スタート決定を押して、調理を開始する

“ピー”という音がして、調理が開始します。

加熱中

加熱中は時間表示は変化しません。



「圧力」が点滅

圧力調理中

“ピピッ”という音がして、
「圧力」が点灯し、「！」が点滅します。
残り時間も減っていきます。



「！」が点滅

保温

終了音(“ピー”が3回)が鳴ったら圧力調理は終了です。自動で保温に切り替わります。



「保温」が点灯し、「！」が点滅

保温中は経過時間を表示します。

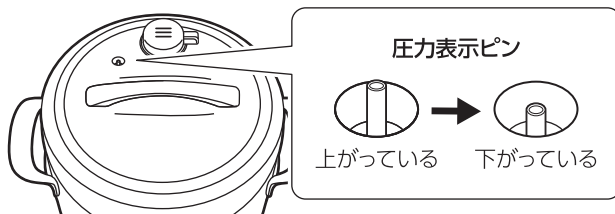
保温は最大12時間続きます。

途中で終了したい場合は (切) を押します。

4. 圧力表示ピンが下がるまで待つ

圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5～30分です。

※調理内容によって異なります。



5. ふたを開ける

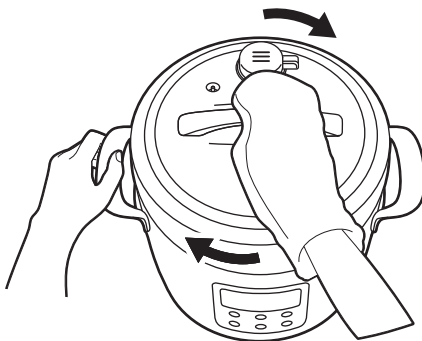
圧力切替弁を「排気」に切り替えて、完全に蒸気を排気します。

ふたを時計回りに回します。

※ふたの開け方の詳細は、P.11を参照ください。

※ふたが回しにくい場合は、取っ手(本体)も持って回してください。

※ふたを開ける際は、取っ手をわずかに動かし、いったん止めたときに、ふたの隙間から蒸気が出てこないことを確認してから、ふたを開けてください。



■ふたをあけるときの適切な手順であける。蒸気が出ていないことを確認する。圧力が残っている状態・下がる前に絶対にふたを開けない。

• けが・やけどの原因になります。

P.11「ふたの開けかた」、P.29「すぐにふたを開ける(緊急時)」に従ってふたを開けてください。

重く感じた時は内部の圧力が下がっていない可能性があります。

少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり高温の蒸気や調理物が噴出したりする場合があります。少し時間を置いてから開けてください。

すぐにふたを開けるときの周囲の安全を確かめてから開けてください。

■調理後にふたを開ける時は、必ずミトンをはめる

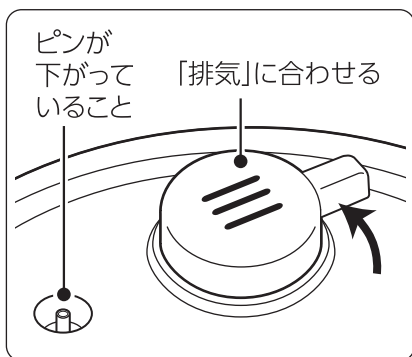
• けが・やけどの原因になります。

ロックピン、圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふた、内がまなどの高温部や蒸気に素手で触れないようにご注意ください。

低温調理

一定温度で加熱する

●準備する(P.17、18)



低温調理

1. ボタンを押して「低温」を選択する



デジタル表示が点滅

2. 調理時間を設定する

(1) または を押して、調理時間を選択する

時間範囲 5分～12時間
5分～1時間までは5分単位で設定できます
1時間～12時間までは30分単位で設定できます

長押し 5分～1時間までは10分単位で変化します
1時間～12時間までは1時間単位で変化します

時間 「時:分」で設定します。
(例「00:10」の場合は10分間調理します)

(2) を押して調理時間の設定は完了です



警告

■調理中や調理の直後は圧力切替弁には触れない

- けが・やけどの原因になります。

高温の蒸気が噴き出す場合がありますのでご注意ください。

メニュー選択後、スタートボタンを押さずに約5分間何も操作しないと設定内容が取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は初めから操作をやり直してください。

「毎日特別ごはん」
レシピ公開中!



3. または を押して、調理温度を選択する

設定範囲30℃～100℃

5℃単位で設定できます。

※周囲温度や内がまの温度が設定温度より高い場合は
正しく調理できません。

4. を押して、調理を開始する

“ピー”という音がして、調理が開始します。

加熱中
「！」が点滅し、残り時間が減っていきます。



「低温」と「設定温度」が点灯し、
「！」が点滅

終了音（“ピー”が3回）が鳴ったら調理は終了です。
保温には切り替わりません。

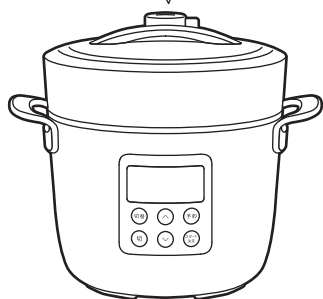
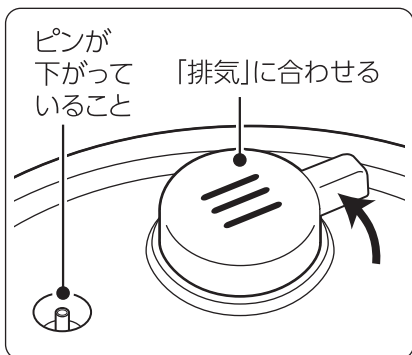
5. ふたを開ける

ふたの開け方や注意事項は、P.11を参照してください。

温め

調理した料理をあたためなおす

●準備する(P.17、18)



約5分間なにも操作しないと、設定内容が取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は、はじめてから操作をやり直してください。

1. 切替 ボタンを押して「温め」を選択する



デジタル表示が点滅

「温め」では調理時間の変更はできません。

2. スタート決定 ボタンを押して、調理を開始する

“ピー”という音がして、調理が開始します。



加熱中

加熱中は時間表示は変化しません。



「温め」が点滅



温め中

内がまの温度が90℃に達すると、“ピピッ”という音がして、残り時間が減っていきます。



「！」が点滅



保温

終了音(“ピー”が3回)が鳴ったら圧力調理は終了です。自動で保温に切り替わります。



「保温」が点灯し、「！」が点滅

保温中は経過時間を表示します。

保温は最大12時間継続します。

途中で終了したい場合は(切)を押します。

3. ふたを開ける

ふたの開け方や注意事項は、P.11を参照してください。

予約

予約する

調理を開始するまでの時間を設定します。

設定できる時間は1時間～12時間です。

ただし、予約できるのはオートモードの「メニュー1 (炊飯)」とマニュアルモードのみです。

●準備する (P.17、18)

●調理モードを設定する

・オートモード：メニュー1 (炊飯)

(P.19 手順1)

・マニュアルモード(P.21 手順1～2)

約5分間なにも操作しないと、設定内容が取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は、はじめてから操作をやり直してください。

1. ボタンを押し、 予約設定モードにする



※表示例:「炊飯」の場合

「時間後入」が点灯し、デジタル表示が点滅

2. または を押して、 調理開始時間を設定する



デジタル表示が点滅

設定範囲:1時間後～12時間後。1時間単位で設定できます。

3. を押して予約の設定は完了です

分単位でカウントダウンを始めます。



「！」が点滅

カウントダウンが終了すると、「時間後入」は消灯し、設定した調理を開始します。

お手入れ

お手入れする

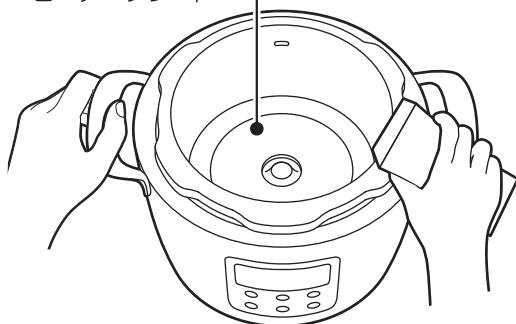
本体、ふた本体、ヒータープレート

やわらかい布巾で拭きます。汚れがひどいときは、ぬれた布巾を固く絞り台所中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

※ふたに関しては、内ぶたを取り外して内側もお手入れしてください。ふたの分解、組み立てはP.11、12を参照してください。

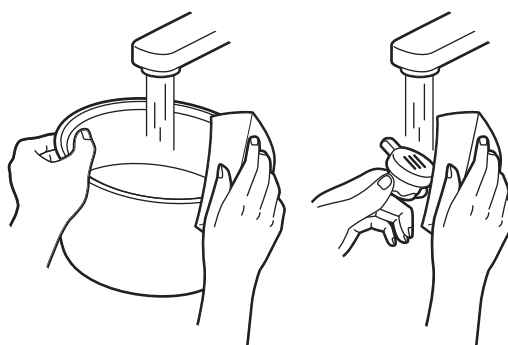


ヒータープレート



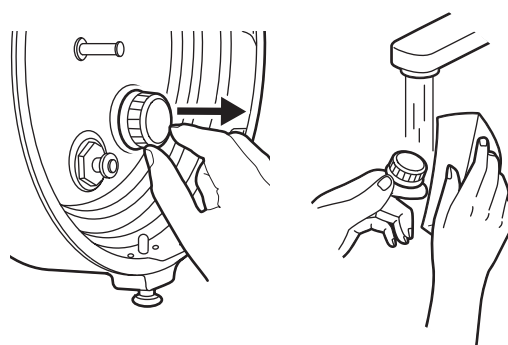
内がま、圧力切替弁

台所中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。



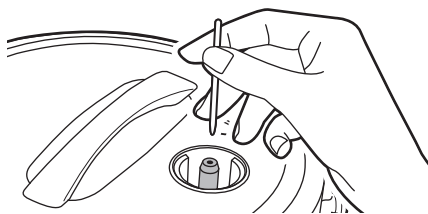
排気弁カバー

排気弁カバーをまっすぐ引き抜き、異物を取り除いて台所中性洗剤とスポンジで洗い、水を拭き取ります。



圧力表示ピン・ノズル

穴が詰まっていたら、つまようじなどで異物を取り除いてください。

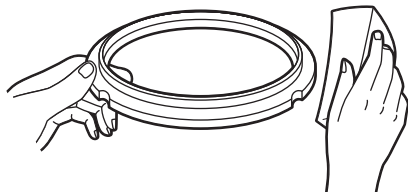


パッキン

パッキンを内ぶたから取りはずし、台所中性洗剤とスポンジで洗い、水を拭き取ってください。

※パッキンに汚れ、ぬめり、亀裂など劣化が無いかを確認してください。また、パッキンをはめたときに、ゆるみ、たるみなどが発生していないかを確認してください。

※パッキンは消耗品です。1年を目安に交換するようにしてください

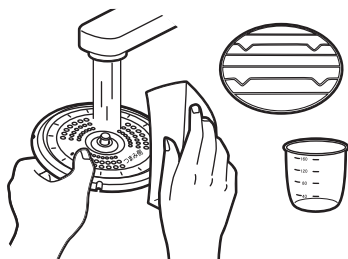


内ぶた・付属品

台所中性洗剤とスポンジで洗い、乾いた布で拭いてください。

※強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用しないでください。

※電子レンジ・オープン・オーブンレンジ・食器洗浄機、食器乾燥機、食器洗い乾燥機は使用しないでください。



警告

■圧力表示ピン、圧力切替弁、ノズルが詰まったままだで使用しない

- けが・やけどの原因になります。

内がまや内ぶた、パッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにすると、圧力切替弁や圧力表示ピン、ノズルに付着する可能性があります。ご使用後は必ずお手入れをしてください。

■本体を丸洗いしない

- 火災・感電の原因になります。

■食器洗い機や食器乾燥機、食器洗い乾燥機は使用しない

- 火災の原因になります。



注意

■電源プラグを抜いて本体を冷ましてからお手入れする

- けが・やけどの原因になります。

お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷まし、各パーツを取りはずしてから行ってください。調理後は、たまった煮汁が内ぶたから出てくる場合がありますので、注意してください。

すぐにふたを開ける(緊急時)

緊急時、圧力表示ピンが自然に下がるのを待てない場合は、以下の方法で蒸気を抜いて減圧してください。



警告

■ふたをあけるときの適切な手順であける。蒸気が出ていないことを確認する。圧力が残っている状態・下がる前に絶対にふたを開けない。

- けが・やけどの原因になります。

P.11「ふたの開けかた」、P.29「すぐにふたを開ける(緊急時)」に従ってふたを開けてください。

重く感じた時は内部の圧力が下がっていない可能性があります。

少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり高温の蒸気や調理物が噴出したりする場合があります。少し時間を置いてから開けてください。

すぐにふたを開けるときは周囲の安全を確かめてから開けてください。

■調理後にふたを開ける時は、必ずミトンをはめる

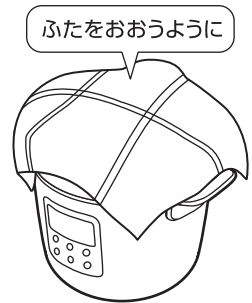
- けが・やけどの原因になります。

ロックピン、圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふた、内がまなどの高温部や蒸気に素手で触れないようにご注意ください。

1. 切 ボタンを押して調理を中止し、厚めのぬれた布巾をかける

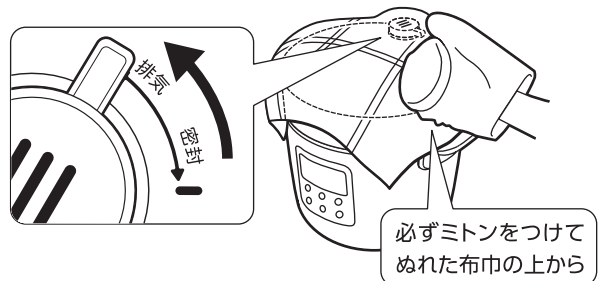
※勢いよく蒸気が出て危険なので、必ず厚めのぬれた布巾を使用し、ふた全体をおおうようにかけてください。布巾は水滴がこぼれ落ちない程度に軽く絞ってください。

※使用した布巾に調理したものがかかるおそれがあります。



2. 5分以上待つ

3. 圧力切替弁を「排気」の位置にゆっくり動かす



※圧力切替弁のつまみの部分を、ミトンの先で押して動かします。圧力切替弁の真上から蒸気が吹き出すため、必ずつまみの部分を押してください。圧力切替弁の真上には触れないでください。

※圧力切替弁から蒸気が出はじめたら、すぐに手をはなしてください。排出される蒸気に注意してください。

※おかゆなど水分が多い料理の場合、調理したものが圧力表示ピンや圧力切替弁から吹き出す場合があります。

4. 蒸気が出なくなったら布巾を取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してからふたを開ける

※ふたや圧力切替弁、ぬれた布巾が熱くなっているため、やけどには注意してください。

困った時は

こんなときは？	確認してください
ボタンを押しても動かない	電源プラグや器具用プラグが抜けていませんか？
蒸気が漏れる	パッキンが正しく取り付けられていますか？
	内がま・パッキン・排気弁カバーに異物がついていませんか？
	内がまやふたにへこみや傷がありませんか？ →裏表紙に記載の「お客様相談窓口」までご連絡ください。
	圧力切替弁が「排気」の位置になっていませんか？ →「密封」の位置に合わせてください。
	ふたは確実に閉まっていますか？ →P.11を確認してください。
煮汁と蒸気が噴き出す	ふたは確実に閉まっていますか？ →P.11を確認してください。
	調理材料(水・調味料・調味液含む)の量が多すぎませんか？
	圧力がかかっているときに、急に圧力切替弁をはずしていませんか？
調理が上手にできない (生煮え、煮えすぎ、焦げるなど)	加圧時間、調理時間の時間設定を間違えていませんか？
	水や調味液の量を間違えていませんか？
	調味料はあらかじめ溶かしてから入れましたか？
タイマーが動かない	調理モードランプが点滅していませんか？ →調理モードランプ点滅中(加熱中)はタイマーは進みません。
操作パネルの表示部に 「E1」「E2」「E5」「E6」が 表示される	「E1」「E2」「E6」:センサーの不具合が考えられます。 →裏表紙に記載の「お客様相談窓口」までご連絡ください。
	「E5」:ヒータープレートの汚れが考えられます。 →ヒータープレートの表面の汚れをきれいにふいてください。
	ふたは確実に閉まっていますか？ ※上記の確認後、電源プラグをコンセントから抜き、再び電源プラグを コンセントに差し込んでください。表示が変わらない場合は、裏表紙に 記載の「お客様相談窓口」までご連絡ください。
無水調理で焦げる	玉ねぎなど水分量の多い食材を、内がまの底の方に入れてください。
ご飯の水気が多く上手く 炊けない	お米の状態やお好みにより、水分量を調整してください。水が多い場合は、 給水量を内がまの目盛りより減らしてお試しください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明点や修理に関するご相談は、製品に保証書を添えてお買い上げ販売店、または弊社お客様相談窓口にご相談ください。

保証書(本書)

- 保証書は、必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店」など所定欄が記入されていることをご確認の上、販売店よりお受け取りいただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ※オンラインで本製品をお買い上げいただいた場合、製品型番・お買い上げ年月日・販売店が確認可能な購入証明書類(納品書など)が必要となりますので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
- 保証対象:製品本体のみとさせていただいており、消耗品や付属品は保証対象外となります。
- 保証書の再発行はいたしません。

保証期間内の対応

- 保証書の規定に従って修理させていただきます。
- ※保証期間内でも保証対象外の状態だった場合、「有料」とさせていただきます。
保証対象外の詳細に関しては保証規定をご確認ください。

修理を依頼する場合

- 本書P.30「困った時は」を確認しても問題が解消されない場合、電源プラグを抜いてご使用を中止の上、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご連絡ください。
なお、食品の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は技術料・部品代・輸送料などで構成されています。
技術料:点検・修理・調整などの料金
部品代:修理に使用した部品・補助材料の料金
輸送料:修理品送付時の費用

補修用性能部品の保有期間

- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書や本体ラベル等に従った正常な使用で故障した場合に無料で修理、または交換いたします。
- 修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談窓口にご提示の上、修理をご依頼ください。
- 保証対象は製品本体のみとなります。保証期間内であっても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品などで保証書に記入されている販売店で無償修理が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内であっても次の場合には保証対象外とし、有料、または対応不能となります。
 - 保証書の提示がない場合や、保証書に記入漏れがある場合
 - 保証書にある記入欄の字句が書き換えや、書き加えされている場合
 - 使用上の誤り(取扱説明書や本体ラベルに反した使用)による故障、損傷
 - 取扱上の不注意(落下、衝撃、圧力などによる負荷や虫などの動植物、ほこり、水、タバコの煙などの異物混入)や、お手入れ時の不備(かび、腐食、変色など)による故障、損傷
 - 天災や天変地異(火災、地震、水害、落雷など)による故障、損傷
 - 公害(ガス害や塩害など)や異常電圧などによる故障、損傷
 - 分解、改造、弊社以外での修理による故障、損傷
 - 一般家庭用以外(例:業務用・商業用の過度な連続使用など)や環境(温度、湿度、振動など)で使用した場合の故障、損傷
 - 自然摩耗や自然劣化(カビ・腐食・変色など)により消耗部品が損耗した場合
 - 譲渡、またはオークションや個人売買などで再販された本製品を入手した場合
 - 消耗品や付属品が故障、損傷した場合
 - 日本国外で本製品を使用して故障、損傷した場合
- 保証書は日本国内でのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
 - この保証書に明示した期間や条件に基づき、本製品に対しての保証をお約束するものです。
なお、この保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - 弊社が関与しない修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、ご送付の際の送料や諸経費はお客様のご負担となります。
 - 本製品の故障に起因する損失や、直接・間接の損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
 - 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談窓口までお問い合わせください。

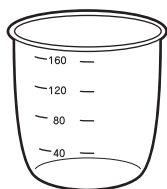
免責事項

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断や情報の損失、食品の補償、その他の金銭的損害など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

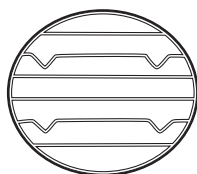
お買い上げ年月日		保証期間
年 月 日		お買い上げから1年
型 名	EPC01A-20	
お名前	フリガナ	
ご住所	フリガナ	
	〒 TEL() -	
お買い上げ店		

消耗・交換部品

消耗・交換部品を依頼される場合は「お客様相談窓口」にて承ります。(巻末参照)

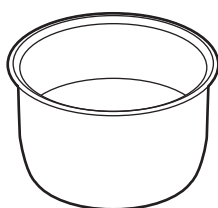


計量カップ

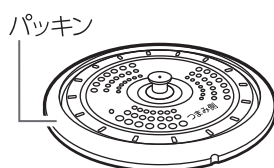


蒸し台

「内がま」「内ぶた」「内ぶた用パッキン」はWebからのご購入も可能です。



内がま
(EPC01A-20用)



内ぶた



内ぶた用パッキン
(1年交換推奨)



公式オンラインショップ
<https://re-de.shop>



仕様

商品名	電気圧力鍋 2L
型名	EPC01A-20
定格電圧	AC100V～
定格周波数	50/60Hz
消費電力	600W
外形寸法	W288×D222×H244mm
質量	約2.8kg
調理容量	1.2L
呼び容量(満水容量)	2.0L
電源コード長	約1.5m
調理モード	圧力(オートモード、マニュアルモード)、低温調理、温め
予約	最大12時間、1時間単位で設定可能(圧力調理のマニュアルモード及びオートモード:メニュー1(炊飯)のみ利用できます)
使用環境	周囲温度:5-35℃、周囲湿度:20-80%RH
製造国	中国
内容品	本体、蒸し台、計量カップ、内がま、内ぶた、電源コード、レシピブック、取扱説明書(保証書付き)
調理時の最高圧力	83kPa(ゲージ圧力)
自動メニュー	8種

- 本製品は日本国内専用です。
- 本製品の仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



愛情点検

長期ご使用の場合は
商品の点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 焦げくさい臭いがする
- 圧力が上がらない(圧力表示ピンが上がらない)
- その他の異常、故障がある

ご使用中止

事故防止のため使用を中止し、
電源プラグをコンセントから抜き、

お客様相談窓口

お電話でのご相談

03-3573-0703

受付
時間

10:00～17:00(月～金)

※土日祝日、年末年始や夏季休業期間など会社指定による休日を除く

お問い合わせフォーム



<https://a-stage.force.com/astage/s/>

【お客様相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は、修理やご相談への回答などに利用いたします。

また、利用目的の範囲内で協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

最新情報はこちら



公式サイト



Instagram

PSCマーク・SGマーク取得



PSCマーク

「消費生活用製品安全法」
の家庭用の圧力なべ及び
圧力がまの安全基準に適
合していることを示します。



対人賠償責任保険付
購入日より5年間
製品安全協会

SGマーク

SGマーク制度は、家庭用の
圧力なべ又は圧力がまの欠
陥によって発生した人身事
故に対する補償制度です。

株式会社A-Stage

【本 社】〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-18-5
Suidobashi BUSINESS CUBE 4階

【商品管理センター】〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-8-1 船橋西浦物流A棟 2F